

国際理解出前講座



大草原の国・モンゴル



8月21日（日）、太市公民館で国際理解出前講座「大草原の国・モンゴル」を実施しました。21名の方が参加されました。講師は、モンゴル出身で現在姫路市内にお住まいのレンツェンホルロー オユンゲレル（愛称：オーヨー）さんです。オーヨーさんは、モンゴル・ハラハ族の伝統衣装で登場されました。



モンゴルは面積が日本の約4倍、人口は300万人で21県からなる国です。人口の半数は首都ウランバートルに住んでいるそうです。概要の紹介の後には、モンゴルの四季についてお話しいただきました。

夏は日中30度くらいまで気温が上がるが、夜は20度くらいまで下がり、湿度も低いので快適で過ごしやすいこと。また、ナーダムという大きな民族祭が行われ、モンゴル相撲には500人以上の力士が参加するというお話では、参加者の方から「おお！」と声が上がりました。秋は新学年が始まる季節であり、日本のランドセルが丈夫で人気だそうで、オーヨーさんの弟さんが日本に来られたときに、子どものために買って帰られたなど、自身の体験談を交えながら紹介されました。

お話の合間には、公民館の計らいでモンゴルの茶葉を煮出して塩と牛乳を加えたお茶がふるまわれました。

参加者の方々は、馬頭琴とホーメイの音楽を鑑賞したり、シャガイという家畜の骨で作ったおはじきのようなおもちゃに実際に触れたりして、モンゴルをより身近に感じられたようです。

